

母子手帳と同時交付

子育て世帯や妊娠中の女性が、飲食店などで優遇サービスを受けられる鹿児島市の子育て支援パスポート制度のスタートから一年が経過した。しかし交付を受けたのは、対象の六万八千世帯中一万三千世帯弱にとどまり、普及はいまひとつ。制度浸透を目指す市は十一月から、市内の各保健センターで母子健康手帳と同時に交付が受けられるよう、運用方法を見直した。

今月から市、妊婦の利便考慮



子育て支援パスポートの交付対象は、鹿児島市に住民登録または外国人登録し、満十八歳未満の子供や妊婦がいる世帯。県内に三百店以上ある「お出かけラク! トク! 応援隊」の認定店舗・施設で提示すると、飲み物無料や商品割引、プレイルームや授乳用湯水提供などのサービスが利用できる。これまで、交付を受けるには子育て支援

手帳の交付を受ける際、「同時に申請できれば手間が省ける」といった指摘があったことから同時交付を決めた。一歳半、三歳児健康診査や乳幼児約束(予約制)健康診査の受診時にも申請可能になる。有効期限は二〇一〇年三月か、最年少の子供が十八歳になる前日まで。従来の窓口でも申請可能。子育て支援推進課099(216)1259。ファクス、電子メール、はがきでも手続きできる。

子育て支援パス 制度浸透へ

かごしま子育て支援パスポート

推進課が各支所福祉担当課で手続きする必要があった。妊婦が保健センターで母子健康

意見交換する鹿児島大学の関係者と県内企業の社長ら。鹿児島市名山町

鹿大と県内企業連携探る



新ビジネス創出で交流会

鹿児島大学と県内企業との連携を促進し、約四十人が参加した。新ビジネス創出を目的とした交流会が十月二十九日、鹿児島市名山町のソフトプラザかごしまで開かれた。同市と鹿大の共催

愛と化学、地球救う 鹿児島市西別府町の池田中学・高校で十月三十一日、明治大学理工学部教授北野大さんの講演会があった。生徒や保護者約七百二十人が北野さんのユーモアを交えた話に聞き入った。北野さんは「愛と化学は地球を救う」をテーマに、公害が産業型から都市型に変わっていることや、地球温暖化について説明。質問に答えた生徒にはメッセージ入り色紙を贈った。講演の最後に北野さんは「みなさんには無限の可能性がある。日本の資産は人間なのだから頑張ってください」と呼び掛けた。高校一年の村岡正幸さん

大波小波 三島村黒島の大里運動広場で、片泊地区と久々の再会喜ぶ。大里地区の高齢者学級交流会があった。両地区のお年寄り四十人が、久々の再会を喜び合い、グラウンドゴルフや輪投げ、写真などを楽しんだ。片泊青年会の主催。村には公共の交通機関がなく、お年寄りから「大里の知人に会いたい」という声が上がっていた。今回は片泊高齢者学級で毎年実施している老人遠足を十月十九日に同広場で行い、大里地区のお年寄りを「招待」する形で実現した。村宮船「みしま」欠航の影響で、同青年会は当日朝までバーベキューの食材集めに奔走するなど苦勞もあつた。山口文則会長(三島)は「数十年ぶりに会えたという人もいた。今後も何らかの形で継続できれば」と話した。

篤姫に「大輪」の着物

仙巖園きょうから菊まつり

鹿児島市吉野町の仙巖園で一日から「菊まつり」が始まる。今年のはNHK大河ドラマ篤姫の放映を記念して、篤姫の菊人形が初お目見え。一本の根から三色の花が咲く「千輪咲大菊」や、高さ約九尺の五重塔など、七千鉢約一万五千本の菊が彩る。二十四日まで。同園は今年、福島県



鮮やかな菊が飾り付けられた菊人形の篤姫

鹿児島市吉野町の仙巖園

薩摩琵琶で天文館「応援」

鹿児島市の照国神社で一日開く「薩摩文化夜神楽」で、薩摩琵琶の新作「薩摩魂」が初披露される。同市草牟田二丁目の鹿児島神社宮司、山下剛さん(四七)が作詞・作曲。「天文館の再びの栄えも一つ真心の道を立てるに如かぬなり」と歌い、街の奮起を後押しする「応援

歌に仕上がっている。和歌をたしなむ山下さんが「一般の人にも広く聴いてもらえる曲を作ろう」と、約一週間かけ作った。島津いろは歌の一節などを盛り込み、明治維新を成し遂げた先人の心意気を継承し、観覧自由。夜神楽は午後五十九時。きょう照国神社「夜神楽」で披露

「おくやみ」は希望した方だけ掲載しています。

も開かれ、参加者からは「大学と企業を結ぶコーディネーターが必要」といった意見も出された。鹿大によると、二〇〇七年度の各企業との共同研究百十五件のうち、県内企業との研究は二十四件と低迷している。鹿大産学官連携推進機構の中武貞文准教授(三島)は「企業にま

うぶ声 鹿児島市 かつこ内は親の名(住所、誕生日) 牧瀬絢音(美海・裕美) 星ヶ峯6丁目、10月11日

おくやみ (鹿児島市)南日本新聞社10月31日受け付け) 福ヶ野ワカ(六)下伊敷3の39の5▽中園秀男(六)下荒田2の8の16▽川畑忠義(九)三原原7の19の22▽前田マリ(六)星ヶ峯1の60の13▽白木義行(七)下田町7の0の5▽清原キク(九)下荒田4の37の10▽宮下シツ子(六)城西1の23の24▽内野エイ(六)田上3の19の6▽二階堂行子(八)鴨池2の9の24

県都版

鹿児島市近郊の身近なニュース、催し物は地域報道部までお知らせください。 電話 099(813)5145 099(256)1607

急病夜間案内

夜間急病センター 099(214)3350 内科 小児科 外科(翌朝7時まで)▽産婦人科(同) 要電話連絡▽眼科 耳鼻咽喉科(夜11時まで) 歯科(夜11時まで) 099(222)0574 市薬剤師会救急薬局(午後7時-翌朝7時) 099(206)2811 日曜・夜間当番医(日曜午前10時-午後5時、夜間8時-11時半) 099(256)5962

おくやみ うぶ声案内

鹿児島市役所に届け出た方で掲載希望の場合、次の要領でご連絡ください。掲載無料。前、住所、電話番号を明記。出生届出済証明または受理証 1607。郵送〒890-8603、南日本新聞地域報道部まで。 099(256)1607